

# 川に親しむ

「子どもたちにきれいな川を残したい」

おねいわ やすこ  
大岩 泰彦 さん(日野郡江府町)  
江府町商工会 会長  
江府町愛護会



大岩 泰彦さん

毎年4月末から5月上旬にかけて国道181号をドライブしていると、日野川にかかる江府町内の久遠橋と夜更橋で、たくさんの鯉のぼりが気持ち良さそうに青空を泳いでいる光景を目にすることが出来ます。江府地区在住の日野川水系漁業協同組合のメンバーで組織する「江府町愛護会」が、河川美化啓蒙事業の指定を受けて平成2年から行っているもので、ここを訪れた人たちに「日野川をきれいにしましょう」というメッセージを伝えています。県外からもたくさんのカメラマンが「絶好の撮影場所」と訪れており、青空にそびえる大山と鯉のぼり、日野川という美しい景色を撮影しています。

江府町商工会の会長をつとめる大岩泰彦さんは、「江府町愛護会」メンバーの一人でもあり、このほかにも川と地域に関する様々な事業に取り組みられています。

商工会の青年部OBで組織する「恋恋(わくわく)会」が毎年夏に開催する「日野川清流鮎釣り会」もその一つです。会のメンバーが日野川で約千匹もの鮎やうなぎを捕り、これを江府町をはじめとした周辺町村の関係者を多数招いて川の恵みを料理し一緒に味わおうという食事です。「日野川の良さをもっとアピールしよう、川をきれいに大切にしよう」という思いから二十年近く続いているイベントで、好評を得ています。



こいのぼりと大山と夜更橋

大岩さんの趣味は、子供のころお父さんに教わってからという「鮎釣り」。大岩さんの長男・次男さんともに共通の趣味で、これは曾祖父の時代からずっと受け継がれているのだとか。大岩さんもお子さんもかつて「鮎釣り」の全国大会に出場した経験があるほどの腕前です。お子さんが小さいころは、休みになると川辺でバーベキューをしたり、キャンプをしたり、釣りをしたりと、遊びといえば日野川での川遊びだったそうです。

大岩さんは、「先代から受け継いだ日野川はとてもきれいなものだったが、残念なことに私たちの世代でとても汚れてしまった。次の世代に受け継ぐときは、先代のときのように元のきれいな日野川に戻したい」という願いがあるそうです。また「日野川の恵みをもっとたくさんの人に伝えていきたい」という熱意もあります。

「そういえばこの前の夏の夕方に、『仕事が終わってから奥御殿のおかずを取りに日野川に来た』という人がありました。以前は汚れていた日野川も最近は下水道の整備などで次第にきれいさを取り戻してきているのだそうです。また河川改修整備が進んだこともあって、川辺まで自動車でも乗り入れることができる場所も出来つつあり、キャンプや釣りでも川へ気軽に遊びに行く人も多くなったそうです。

「スリッパやつっかけを履いて川辺にいけるようになれば、もっと川に親しめるようになりますよね。笑いながらこう語る大岩さんの目は、子供のように輝いていました。



鮎釣り